http://www.businessinsider.com/satoshi-nakamoto-person-of-the-year-2013-12

ビットコイン発明者「サトシ・ナカモト」を2013年の最も印象的な人物に選出した理由

[http://static4.businessinsider.com/image/519f7384eab8ea461b00002f-50-50/rob-wile.jpg](http://www.businessinsider.com/author/rob-wile)

[ROB WILE](http://www.businessinsider.com/author/rob-wile)

12月17日、1:18 PM 6,121 [31](http://www.businessinsider.com/satoshi-nakamoto-person-of-the-year-2013-12#comments)



*Mike Nudelman/Business Insider*

デジタル通貨のビットコインを創り上げたサトシ・ナカモトが、本誌が選ぶ [今年度最も印象に残った人物です](http://www.businessinsider.com/most-impressive-people-of-the-year-2013-12)。

笑わないように。

今日に至るまでサトシ・ナカモトが何者であるか誰も知らないのですが（最新の推論[はChart Girlの一覧を参照](http://chartgirl.com/where-in-the-world-is-satoshi-nakamoto/)）、ビットコインの推進者にとっては、彼の正体は関係ありません。彼が創り出したものが、世界を変えつつあることのほうが肝心です。

芸術の世界についても同じことをよく耳にします。ある男の価値は（あるいは男達かもしれないし、女性かもしれません。サトシが何者であるか、何もわかっていません）、履歴ではなく、業績で決まります。

納得せざるを得ない考え方です。

ビットコインは世界初のデジタル通貨ではありませんでしたし ([World of Warcraft](http://www.adelaidenow.com.au/news/south-australia/sa-woman-kristina-fincham-sues-insurer-over-the-theft-of-75000-she-made-playing-world-of-warcraft/story-fni6uo1m-1226695525957)を思い出してみましょう)、最後ともならないでしょう[（これに関しては、私達も以前記事を執筆しました](http://www.businessinsider.com/digital-currencies-crashing-on-china-report-2013-12)）。

しかし、サトシは他の何よりも遠くを見据えて、強固なものを創り上げました。既存のデジタル貨幣の長所を取入れ、自ら完璧なものに仕上げたのです。

特に、彼はオンライン決済にまつわる最大の問題の一つを解決しました：詐欺です。実世界では、詐欺を防ぐのは中央当局の役割です。サトシはそうした仲介者を外す方法を編み出しました。全ての取引を公開し、全てのコミュニティが取引の有効性を確認できる方法を作り上げたのです。「信頼をベースにせずとも、電子決済ができるシステムを提案します」サトシは[2008年に発表された、ビットコインの基礎概念の白書の中で こう述べています](http://bitcoin.org/bitcoin.pdf)。このコメントは、世代を超えて覚えられていくでしょう。

彼の最も素晴らしいアイデアはたぶん、ハッキングを通じてビットコインを余分に生成することができない構造を生み出したことです。ビットコインは「ハッシュ」ブロック（あるいは、複雑な文字列と数列）を解読するコンピューターを通じて「採掘」されます。サトシが得たやり方とは、ビットコインの生成が進むにつれてハッシュの解読を困難にしていくことでした。彼が書いているように、「ハードの処理速度向上に合わせるため・・・作業（解読）結果の検証がどれほど困難であるかは、毎時間の平均ブロック生成量を目標に据えた移動平均値によって決まります。生成のスピードが速すぎれば、困難さもそれにつれて増えます。」

サトシ自身が参考にしたと認めている初期のデジタル通貨、Hashcashの作成者たちですら、[ビットコインが](http://www.hashcash.org/bitcoin/)「非常によく考えられたイノベーションであり、発明」かつ「世界初」だと認めています。

ではなぜ、ビットコインはそれほど注目に値するのでしょう？[バンクオブアメリカのアナリスト、David Wooが最近発表したノートによると](http://www.businessinsider.com/david-woo-on-bitcoin-2013-12)、ビットコインの使い道は大きく3つにわかれます：金と同様に貯め込むため、オンラインで買い物をするため、そして送金を行うためです。ほとんどの場合、ビットコインで行うほうが低コストで、手軽で、より安全です。最初の2つの使い道はビットコインの創立当初から存在しています。[3つ目の使い道が普及するのは時間の問題でしょう](http://www.bloomberg.com/news/2013-11-28/bitcoin-service-targets-kenya-remittances-with-cut-rate-fees-1-.html)。ドルの絶対値に換算すると、ビットコインは[すでに](http://www.businessinsider.com/bitcoin-versus-paypal-comparison-2013-12)ウエスタンユニオンの決済額を超えており、ペイパルのレベルに近づきつつあります。

もちろん、こうした見方は全て主観的なものです。ビットコインの最も熱烈な支持者ですら、技術的な問題や規制当局の関与が原因で、価値がゼロになる可能性を否定しません。

サトシを「最も印象に残った人物」に選定した際、私達は過去12ヶ月に社会を変革した他の候補者も検討しました。[タイム誌の選出結果に異議を唱えるつもりはありません。](http://www.businessinsider.com/the-realpolitik-behind-time-choosing-pope-francis-as-person-of-the-year-2013-12)フランシス法王は明確な目標を掲げ、今日の問題をはっきりと理解しており、自身の教義に従って生きています。

しかし、当たり前ですが、私達はビジネスを重視します。私達は、ポール・ボルカーにタイトルを進呈するつもりはまだありません。彼が策定したルールは非常に意義があるものですが、ビットコインほど世界中に浸透してはいません。ベン・バーナンキは2009年以来、毎年にわたって選定される可能性もありました（ノーベル平和賞だってありでしょう）。しかし、たとえ偉大な業績とはいえ、毎年同じことを繰り返しているため、2013年の候補からは外れています。カール・アイカーンは神への畏敬を企業に呼び起こしたという点で特筆すべきものがありますが、有名とは言えません。

もちろん、サトシにしてもそうです。でも、しばらく前に、みんながケーキのレシピよりも熱中して話題にしていたのはどちらでしょう？カール・アイカーンのツイートでしょうか？それともビットコインに早めに投資しておかなかった後悔でしょうか？

ビットコインの最終的な使い道は、まだあまり話題になっていません：「銀行を持たない人々」、あるいは金融機関を利用する手段を持たない人々へのツールです。ビットコインにまつわる全ての要素と同様に、それはちょっと耳にしただけでは、馬鹿げて聞こえるかもしれません。インターネットにすらつながらない人たちが、どうやってビットコインを使えるのでしょうか？しかし、[投資家達によると](http://hereisthecity.com/en-gb/2013/06/26/tech-savvy-brits-see-bitcoin-as-the-currency-of-the-future/)、こうした人々は携帯電話を使うはずです。発展途上国では広く利用されており、通貨を取り扱う上で真っ先に使われる媒体となるでしょう。銀行口座を持たずに、ポケットの中から安全に資金を送金したり、受け取る方法を得ることができるのです。

それが起これば、ビットコインは貧富の差すら解消にかかるでしょう。フランシス法王だって耳を傾けるはずです。

関連記事：<http://www.businessinsider.com/satoshi-nakamoto-person-of-the-year-2013-12#ixzz2noafO0Fi>